様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	専門学校神田外語学院
設置者名	学校法人佐野学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
外国語専門課程	インターナショナルコミュニケーション科（２年制）（英語専攻コース）	夜・通信	24 単位（360 時間）	7 単位（160 時間）	
	インターナショナルコミュニケーション科（２年制）（国内大学編入コース）	夜・通信	24 単位（360 時間）	7 単位（160 時間）	
	インターナショナルコミュニケーション科（２年制）（韓国語コース）	夜・通信	20 単位（300 時間）	7 単位（160 時間）	
	インターナショナルコミュニケーション科（２年制）（中国語コース）	夜・通信	20 単位（300 時間）	7 単位（160 時間）	
	インターナショナルコミュニケーション科（２年制）（スペイン語コース）	夜・通信	40 単位（600 時間）	7 単位（160 時間）	
	インターナショナルコミュニケーション科（２年制）（フランス語コース）	夜・通信	28 単位（420 時間）	7 単位（160 時間）	
	グローバルゲートウェイ科（２年制）（海外大学留学コース）	夜・通信	0 単位（0 時間）	7 単位（160 時間）	※
	グローバルゲートウェイ科（２年制）（グローバルビジネスコース）	夜・通信	32 単位（480 時間）	7 単位（160 時間）	
	ビジネスコミュニケーション科（２年制）（ビジネスデザインコース）	夜・通信	79 単位（1,185 時間）	7 単位（160 時間）	
	ビジネスコミュニケーション科（２年制）（ビジネス総合コース）	夜・通信	68 単位（1.020 時間）	7 単位（160 時間）	
	ビジネスコミュニケーション科（２年制）（デジタル情報コース）	夜・通信	81 単位（1,215 時間）	7 単位（160 時間）	
	ビジネスコミュニケーション科（２年制）（エアラインコース）	夜・通信	77 単位（1,155 時間）	7 単位（160 時間）	

	ビジネスコミュニケーション科（２年制）（トラベルコース）	夜・通信	79 単位（1,185 時間）	7 単位（160 時間）	
	ビジネスコミュニケーション科（２年制）（ホテルコース）	夜・通信	77 単位（1,155 時間）	7 単位（160 時間）	
	英語基礎養成科（１年制）	夜・通信	12 単位（180 時間）	4 単位（80 時間）	
	海外大学留学科（１年制）	夜・通信	0	4 単位（80 時間）	※
	大学院進学科（１年制）	夜・通信	0	4 単位（80 時間）	※
（備考）大学院進学科は令和８年度より新設					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.kandagaigo.ac.jp/kifl/about/outline.html

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名　グローバルゲートウェイ科　海外大学留学コース
（困難である理由）当学科は海外 4 年制または 2 年制大学への編入を目的とした学科です。本学で編入先大学の一般教養課程科目を学びこれを単位互換するため、設置科目の担当教員には、教員としての勤務経験はあるものの、必ずしも他の実務経験を有しているものではありません。

学科名　海外大学留学科
（困難である理由）当学科は海外 4 年制または 2 年制大学の 2 年次への編入を目的とした学科です。本学で編入先大学の一般教養課程科目を学びこれを単位互換するため、設置科目の担当教員には、教員としての勤務経験はあるものの、必ずしも他の実務経験を有しているものではありません。

学科名　大学院進学科
（困難である理由）当学科は日本国内の大学院への進学を目的とした学科です。設置科目の教員は、教員としての勤務経験はあるものの、必ずしも他の実務経験を有しているものではありません。

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	専門学校神田外語学院
設置者名	学校法人佐野学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

以下の web サイトにおいて、学校概要の一項目として公表。
https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/about/announcement/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社　代表取締役	令和 6 年度決算に関する定時評議員会終結の時から令和 10 年度決算に関する定時評議員会終結の時まで	グローバル化推進
非常勤	株式会社　代表取締役	令和 6 年度決算に関する定時評議員会終結の時から令和 10 年度決算に関する定時評議員会終結の時まで	卒業生組織活性化
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校神田外語学院
設置者名	学校法人佐野学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 各授業科目についてシラバスを作成している。各シラバスには、科目のねらい・科目内容・成績評価方法・使用テキスト・単位数・使用言語を記載し、合わせて授業週（授業日）ごとの授業内容（学習目標）を示し、受講する学生と授業計画を共有する。 各シラバスは、教務システムの中で、学生が随時閲覧できるようになっており、またダウンロードすることも可能（学生用アカウントにてログインが必要)。一般公開用としては、書面出力したシラバスをファイリングし、閲覧の用に供している（閲覧申込窓口：教務部)。 シラバスは、学科担当者が学内会議において指導方針の承認周知を経たのち、各担当教員が学科担当者との調整の上作成している。 シラバスは前年度末までに学生に公表している。	
授業計画書の公表方法	書面出力したシラバスをファイリングし、閲覧の用に供している（閲覧申込窓口：教務部）
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などを適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）
各授業科目についてシラバスを作成している。各シラバスには、科目のねらい・科目内容・成績評価方法・使用テキスト・単位数・使用言語を記載し、合わせて授業週（授業日）ごとの授業内容（学習目標）を示し、受講する学生と授業計画を共有する。
各シラバスは、教務システムの中で、学生が随時閲覧できるようになっており、またダウンロードすることも可能（学生用アカウントにてログインが必要）。一般公開用としては、書面出力したシラバスをファイリングし、閲覧の用に供している（閲覧申込窓口：教務部）。

シラバスは、学科担当者が学内会議において指導方針の承認周知を経たのち、各担当教員が学科担当者との調整の上作成している。
シラバスは前年度末までに学生に公表している。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）
前項で示した通り、各授業科目はA・B・C・DおよびF（成績証明書においては秀・優・良・可および不可）で成績評価を行っているが、同時にこれらを数値化する場合のルールを定め、学生用インフォメーションサイトへ掲載、公表している。
その数値化のルールは、Ａ＝４・Ｂ＝３・Ｃ＝２・Ｄ＝１・Ｆ＝０であり、これを Grade Point としている。各学生が履修した科目におけるこの合計値を総履修科目数で除した平均値、すなわちＧＰＡを、本学では、姉妹校内部推薦枠の候補者選定や学業優秀者の表彰候補者選出など、また学生が編入学をする際の成績資料として活用している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://kandagaigo.manaba.jp/ct/page_986059c501308

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業要件は、各学科において、定められたカリキュラム表に記載するすべての授業科目について合格することとする。また指定の試験を受験していることなどの条件も付加している。このことは、学生便覧である「学生手帳」に記載している他、入学時に掲載ページを示して全学生へ連絡している。以下インフォメーションサイトからの資料を参照されたい。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://kandagaigo.manaba.jp/ct/page_986059c501308

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	専門学校神田外語学院
設置者名	学校法人佐野学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kandagaigo.ac.jp/kifl/about/outline.html
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	インターナショナルコミュニケーション科（英語専攻コース）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	114 単位（1,710 時間）	42（630 単位時間）	72（1080 単位時間）			

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
1,040 人の内数	975 人の内数	65 人の内数	76 人の内数	76 人の内数	152 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要）各科目とも授業は習熟度別に行い、学生の理解度に応じた教材・進度で進めている。また、クラス毎に毎週、又は、隔週で小テストを行うことで知識の定着を図っている。特に下位レベルの学生向けに課外での特別講座の開講や学生がマンツーマンで教員から英語学習についてのアドバイスを受けることができる英語相談デスクを開設するなど多面的な支援の下、基礎事項を徹底して身につけさせている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
- 人（100%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）
（主な就職、業界等）※完成年度が令和８年度			

（就職指導内容）専門学校で培った高い英語力と、自身の興味や能力を発揮できる職業選択の指導。
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検定、ビジネス能力検定試験、TOEFL、Microsoft Office Specialist 等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
527 人の内数	113 人の内数	21.4%の内数
（中途退学の主な理由）進路変更、学校生活不適応、学業不振他		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、保護者会の実施、保護者用ポータルサイトによる情報共有、学生相談室と医務室における心身ケアサポート等。		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	インターナショナルコミュニケーション科（国内大学編入コース）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	114 単位（1,710 時間）	54（810 単位時間）	60（900 単位時間）			

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
1,040 人の内数	975 人の内数	65 人の内数	76 人の内数	76 人の内数	152 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要）編入学試験を突破できる英語力と日本語力を確実に習得させるべく、長年に亘り蓄積された各大学の試験データを基にカリキュラムが組まれており、専門科目や小論文対策については、学系別のサポート体制を敷いている。また課外での対策講座についても適宜実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
- 人（100%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）
（主な就職、業界等）※完成年度が令和８年度			

（就職指導内容）専門学校で培った高い英語力と、自身の興味や能力を発揮できる職業選択の指導。
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検定、ビジネス能力検定試験、TOEFL、Microsoft Office Specialist 等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
527 人の内数	113 人の内数	21.4%の内数
（中途退学の主な理由）進路変更、学校生活不適応、学業不振他		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、保護者会の実施、保護者用ポータルサイトによる情報共有、学生相談室と医務室における心身ケアサポート等。		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	インターナショナルコミュニケーション科（韓国語コース）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	114 単位（1,710 時間）	62（930 単位時間）	52（780 単位時間）			

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
1,040 人の内数	975 人の内数	65 人の内数	76 人の内数	76 人の内数	152 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要）課外において、各言語のネイティヴ教員と学生が時間を共有するイベント（インターナショナルランチ、各国の料理作り、ダンス体験、フィールドトリップ、現地学生との交流会等）を頻繁に開催することにより、使える言語（生きた表現）の体得、コミュニケーションへの自信・積極性と異文化対応力の醸成に役立っている。また、担任教員による定期的な個人面談や留学担当部署による留学相談などを通じ、学習意欲の維持向上に努めている。本科はネイティヴ教員と日本人職員の双方向からの学修支援が行われている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
- 人（100%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）

（主な就職、業界等）※完成年度が令和８年度
（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検定、ビジネス能力検定試験、TOEFL、Microsoft Office Specialist、ハングル能力検定試験、韓国語能力検定等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
527 人の内数	113 人の内数	21.4%の内数
（中途退学の主な理由）進路変更、学校生活不適応、学業不振他		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、保護者会の実施、保護者用ポータルサイトによる情報共有、学生相談室と医務室における心身ケアサポート等。		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	インターナショナルコミュニケーション科（中国語コース）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	114 単位（1,710 時間）	62（930 単位時間）	52（780 単位時間）			

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
1,040 人の内数	975 人の内数	65 人の内数	76 人の内数	76 人の内数	152 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要）課外において、各言語のネイティヴ教員と学生が時間を共有するイベント（インターナショナルランチ、各国の料理作り、ダンス体験、フィールドトリップ、現地学生との交流会等）を頻繁に開催することにより、使える言語（生きた表現）の体得、コミュニケーションへの自信・積極性と異文化対応力の醸成に役立っている。また、担任教員による定期的な個人面談や留学担当部署による留学相談などを通じ、学習意欲の維持向上に努めている。本科はネイティヴ教員と日本人職員の双方向からの学修支援が行われている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
- 人（100%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）
（主な就職、業界等）※完成年度が令和８年度			

（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検定、ビジネス能力検定試験、TOEFL、Microsoft Office Specialist、中国語検定等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
527 人の内数	113 人の内数	21.4%
（中途退学の主な理由）進路変更、学校生活不適応、学業不振他		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、保護者会の実施、保護者用ポータルサイトによる情報共有、学生相談室と医務室における心身ケアサポート等。		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	インターナショナルコミュニケーション科（スペイン語コース）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	114 単位（1,710 時間）	54（810 単位時間）	60（900 単位時間）			

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
1,040 人の内数	975 人の内数	65 人の内数	76 人の内数	76 人の内数	152 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要）課外において、各言語のネイティヴ教員と学生が時間を共有するイベント（インターナショナルランチ、各国の料理作り、ダンス体験、フィールドトリップ、現地学生との交流会等）を頻繁に開催することにより、使える言語（生きた表現）の体得、コミュニケーションへの自信・積極性と異文化対応力の醸成に役立っている。また、担任教員による定期的な個人面談や留学担当部署による留学相談などを通じ、学習意欲の維持向上に努めている。本科はネイティヴ教員と日本人職員の双方向からの学修支援が行われている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
- 人（100%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）
（主な就職、業界等）※完成年度が令和８年度			

（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検定、ビジネス能力検定試験、TOEFL、Microsoft Office Specialist、スペイン語技能検定、DELE スペイン語検定等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
527 人の内数	113 人の内数	21.4%の内数
（中途退学の主な理由）進路変更、学校生活不適応、学業不振他		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、保護者会の実施、保護者用ポータルサイトによる情報共有、学生相談室と医務室における心身ケアサポート等。		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	インターナショナルコミュニケーション科（フランス語コース）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	114 単位（1,710 時間）	54（810 単位時間）	60（900 単位時間）			

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
1,040 人の内数	975 人の内数	65 人の内数	76 人の内数	76 人の内数	152 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要）課外において、各言語のネイティヴ教員と学生が時間を共有するイベント（インターナショナルランチ、各国の料理作り、ダンス体験、フィールドトリップ、現地学生との交流会等）を頻繁に開催することにより、使える言語（生きた表現）の体得、コミュニケーションへの自信・積極性と異文化対応力の醸成に役立っている。また、担任教員による定期的な個人面談や留学担当部署による留学相談などを通じ、学習意欲の維持向上に努めている。本科はネイティヴ教員と日本人職員の双方向からの学修支援が行われている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
- 人（100%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）
（主な就職、業界等）※完成年度が令和８年度			

（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検定、ビジネス能力検定試験、TOEFL、Microsoft Office Specialist、スペイン語技能検定、フランス語技能検定等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
527 人の内数	113 人の内数	21.4%の内数
（中途退学の主な理由）進路変更、学校生活不適応、学業不振他		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、保護者会の実施、保護者用ポータルサイトによる情報共有、学生相談室と医務室における心身ケアサポート等。		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	グローバルゲートウェイ科（海外大学留学コース）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	161 単位（2,415 時間）	156 (2,340 単位時間)	5 (75 単位時間)			

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
200 人の内数	85 人の内数	2 人	76 人の内数	76 人の内数	152 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要）本学科では、科目毎のシラバスに基づき、エッセイ、ワークシート、小テスト等を実施している。あわせて学期毎に補講期間を設け、学力の向上をサポートをしている。また、通年での留学オリエンテーションを実施する他、随時、専任教員による相談、面談、進路指導も行い、各自の語学力、GPA などの把握を徹底し、個別指導を通じて、学生の留学の成功に努めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
- 人 (100%)	- 人 (　　%)	- 人 (　　%)	- 人 (　　%)
（主な就職、業界等）※完成年度が令和８年度			

（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。
（主な学修成果（資格・検定等））TOEFL、IELTS、Duolingo 等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50 人の内数	13 人の内数	26.0%の内数
（中途退学の主な理由）進路変更、学校生活不適応、体調不良他		
（中退防止・中退者支援のための取組）クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、学習カウンセリング、留学カウンセリングの実施、保護者会実施（年間で 5 回程度実施）		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	グローバルゲートウェイ科（グローバルビジネスコース）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	114 単位（1,710 時間）	66（990 単位時間）	48（720 単位時間）			

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
200 人の内数	85 人の内数	19 人	76 人の内数	76 人の内数	152 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要）学習内容の定着化を図るため、毎週確認テストを行い、目標とする TOEIC800 点に必要な英語力を養成している。また、年間を通じて行われる Learning Strategies の授業では、カウンセリングを通じて個々の学習戦略を練る。また同授業内では各業界で活躍している卒業生をゲストスピーカーとして招き、モチベーションの向上とキャリアビジョンの明確化を図っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
- 人（100%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）
（主な就職、業界等）※完成年度が令和８年度			

（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検定、国際連合公用語英語検定、Oracle Certified Java Programmer,Silver SE 11
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50 人の内数	13 人の内数	26.0%の内数
（中途退学の主な理由）進路変更、学校生活不適応、体調不良他		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、保護者会の実施、保護者用ポータルサイトによる情報共有、学生相談室と医務室における心身ケアサポート等。		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	ビジネスコミュニケーション科（ビジネスデザインコース）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	114 単位（1,710 時間）	47（705 単位時間）	66（990 単位時間）	1（15 単位時間）		

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
640 人の内数	352 人の内数	139 人の内数	76 人の内数	76 人の内数	152 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要）本コースは創造力と共創力を高め、ゼロから１を生み出すビジネスイノベーターを育成するコースです。授業は実践重視のアクティブラーニングが中心で、グループワークを通じてシェアリーダーシップを磨きます。また、マーケティング演習やビジネス研究、財務分析などを通じ、即戦力として企業で活躍できる人材を養成することを目的とします。これらの実現に向け、企業の最前線を学ぶべく、業界人を招聘しての講演会、企業とのコラボレーション授業の実施等を多く採り入れている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
- 人（100%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）
（主な就職、業界等）※完成年度が令和８年度			

（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検定、日商ビジネス英語技能検定、IT パスポート、Microsoft Office Specialist、日商簿記検定、秘書技能検定等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
198 人の内数	44 人の内数	22.2%の内数
（中途退学の主な理由）進路変更、体調不良、家庭の事情他		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、保護者会の実施、保護者用ポータルサイトによる情報共有、学生相談室と医務室における心身ケアサポート等。		

① 学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	ビジネスコミュニケーション科（ビジネス総合コース）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	114 単位(1,710 時間)	32（480 単位時間）	82（1,230 単位時間）			

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
640 人の内数	352 人の内数	139 人の内数	76 人の内数	76 人の内数	152 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要）本コースには外国にルーツを持つ日本国籍の学生および留学生が一定数おり、日本企業へ就職するために必要となる総合的なビジネススキル、英語力、日本語力を身につけることを目的とするコースです。学生の背景を鑑み、PC、英語、ビジネス系科目で構成された通常授業に加え、放課後に日本語力強化のための習熟度別の日本語の授業を行うことにより、通常授業のスムーズな進行を補完している。また、日本で快適な生活が送ることができるよう、専門部署による各種カウンセリング制度も備えている。クラス担任については留学生の在籍管理に精通した者を充てており、日々の出欠管理、アルバイト管理に十分留意している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
- 人（100%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）

（主な就職、業界等）※令和８年度新設のコース
（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。
（主な学修成果(資格･検定等))日本語能力試験 N1、TOEIC600 点以上、Microsoft Office Specialist 等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
－	－	－
（中途退学の主な理由）－		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、保護者会、クラス担任制度、留学生向け各種説明会の実施、学生相談室と医務室における心身ケアサポート等。		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	ビジネスコミュニケーション科（デジタル情報コース）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	114 単位（1,710 時間）	43（645 単位時間）	70（1,050 単位時間）	1（15 単位時間）		

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
640 人の内数	352 人の内数	139 人の内数	76 人の内数	76 人の内数	152 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要）本コースでは、WEB・SNS マーケティングを理解し、画像・動画編集などの最新のデジタルツールを英語とともに幅広く学びます。効率的な学びの推進と習得したスキルを最大限に活用すべく、対面型とオンデマンド型の授業を併用している。また、担任による定期的な個別面談を通じて、学生の習熟状況を確認し、個別の進路相談・指導を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
- 人（100%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）
（主な就職、業界等）※完成年度が令和８年度			

（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検定、日商ビジネス英語技能検定、IT パスポート、Microsoft Office Specialist、日商簿記検定、秘書技能検定等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
198 人の内数	44 人の内数	22.2%の内数
（中途退学の主な理由）進路変更、体調不良、家庭の事情他		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、保護者会の実施、保護者用ポータルサイトによる情報共有、学生相談室と医務室における心身ケアサポート等。		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	ビジネスコミュニケーション科（エアラインコース）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	114 単位（1,710 時間）	49（735 単位時間）	64（960 単位時間）	1（15 単位時間）		

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
640 人の内数	352 人の内数	139 人の内数	76 人の内数	76 人の内数	152 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要）航空・空港関係を中心としたサービス業に必要とされるスキル向上のための授業（エアライン業界研究、イメージコンサルティング、社会人基礎力等）を、演習を織り交ぜた形式で実施している。また、担任、担当教員、キャリア教育センターが三位一体となり、エントリーシートの書き方から面接練習まで徹底的にサポートする体制が整っており、納得のいく進路選択を支援している。また、内定者報告会や航空会社と連携した研修会を開催するなど、モチベーションの維持向上に資する取り組みを講じている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
- 人（100%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）
（主な就職、業界等）※完成年度が令和８年度			

（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検定、接客心理検定、マナー・プロトコル検定、秘書技能検定、IT パスポート、Microsoft Office Specialist 等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
198 人の内数	44 人の内数	22.2%の内数
（中途退学の主な理由）進路変更、体調不良、家庭の事情他		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、保護者会の実施、保護者用ポータルサイトによる情報共有、学生相談室と医務室における心身ケアサポート等。		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	ビジネスコミュニケーション科（トラベルコース）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	114 単位（1,710 時間）	47（705 単位時間）	64（960 単位時間）	3（45 単位時間）		

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
640 人の内数	352 人の内数	139 人の内数	76 人の内数	76 人の内数	152 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要）試験対策授業では定期的に模擬試験を設定し、進捗状況の確認と知識の定着度合いに合わせた目標設定・助言を与えている。実務授業においては、教員と学科担当者が共同授業をすることで、教員と学生への相互支援を通して、多面的且つ全学生へ行き届いた指導を行っている。また、産学連携プログラム活用した旅行会社での実務体験等を通じ、旅行業界への理解をさらに深め、興味関心を引き出す課題を設定することにより、学習意欲の向上に繋げている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
- 人（100%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）
（主な就職、業界等）※完成年度が令和８年度			

（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検、全国通訳案内士、国内旅行業務取扱管理者、総合旅行業務取扱管理者、国内旅程管理主任者、総合旅程管理者主任者、観光英語検定、世界遺産検定、ITパスポート、Microsoft Office Specialist 等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
198 人の内数	44 人の内数	22.2%の内数
（中途退学の主な理由）進路変更、体調不良、家庭の事情他		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、保護者会の実施、保護者用ポータルサイトによる情報共有、学生相談室と医務室における心身ケアサポート等。		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	ビジネスコミュニケーション科（ホテルコース）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	114 単位（1,710 時間）	49（735 単位時間）	64（960 単位時間）	1（15 単位時間）		

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
640 人の内数	352 人の内数	139 人の内数	76 人の内数	76 人の内数	152 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要）担任教員による定期的な個人面談を通して、学科の学生全員の学習状況のチェックや進路指導、各種相談を行っている。併せて、学科専門科目担当教員全員で、修得状況の情報を共有し、学習支援の意見交換を行っている。また、ホテルに勤務する卒業生との交流会の実施やホテルインターンシップを通じてホテル業界へのさらなる興味と理解を深め、職業像の明確化を図り学習意欲を高めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
- 人（100%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）	- 人（　　%）
（主な就職、業界等）※完成年度が令和８年度			
（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			

（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検、ホテルビジネス実務検定、マナー・プロトコル検定、サービス介助基礎研修、秘書技能検定、ビジネス能力検定、IT パスポート、Microsoft Office Specialist 等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
198 人の内数	44 人の内数	22.2%の内数
（中途退学の主な理由）進路変更、体調不良、家庭の事情他		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、保護者会の実施、保護者用ポータルサイトによる情報共有、学生相談室と医務室における心身ケアサポート等。		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	英語基礎養成科		

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	60単位（900時間）	44（660単位時間）	16（240単位時間）			

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20人	7人	0人	76人の内数	76人の内数	152人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要）本学科は習熟度別にクラス編成をしており、週１回の学習カウンセリングを通じて、修得状況の確認を行い、一人ひとり効果的な学習を計画し、個々の英語基礎力向上に取り組んでいる。また、担当教員による個別面談を通して、進路相談・指導を行い、学科科目担当教員全員と情報共有し学習支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
4人（100%）	0人（　　%）	0人（　　%）	4人（　100%）
（主な就職、業界等）※完成年度が令和８年度			
（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検定等。			

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17 人	11 人	64.8%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、保護者会の実施、保護者用ポータルサイトによる情報共有、学生相談室と医務室における心身ケアサポート等。		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	海外大学留学科		

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	92 単位（1,380 時間）	92（1,380 単位時間）				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20 人	4 人	0 人	76 人の内数	76 人の内数	152 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要）本学科は入学後の１年間で海外大学１年次の単位を取得し、２年次からの海外提携大学への編入を目指すコースです。定期カウンセリングの他、担任、担当教員、留学センターが三位一体となり、学習計画の作成から留学先の選定・準備までも含めたきめ細かなケア体制が整備されている。また、海外大学留学コース２年次への進級、就職といった進路変更希望者に対するサポート体制も充実している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
2 人（100%）	0 人（ %）	0 人（ %）	2 人（ 100%）
（主な就職、業界等）※完成年度が令和８年度			
（就職指導内容）専門学校で海外留学に向けて学んだ知識を活用出来る職業選択の指導。			

（主な学修成果（資格・検定等））TOEFL、IELTS、TOEIC 等。
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	1 人	33.3%
（中途退学の主な理由）進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、保護者会の実施、保護者用ポータルサイトによる情報共有、学生相談室と医務室における心身ケアサポート等。		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	大学院進学科		

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	40単位（600時間）	4（600単位時間）				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20人	18人	18人	76人の内数	76人の内数	152人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要）大学院進学に必要となる研究基礎力、論理的思考力を段階的に身につけさせ、大学院進学へと導きます。志望大学院と研究科選びのサポートから、研究計画書の書き方、入試・面接・口頭試問対策を学生一人ひとりの研究テーマや進学目標に応じて行い、受験計画を管理します。なお、本学科は在籍者のうち、一定程度を留学生が占めることから、高度な学術的な日本語力の指導にも力を入れているほか、中国語による授業指導、進学カウンセリングを受けることも可能である。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
－人（100%）	－人（　　%）	－人（　　%）	－人（　　100%）
（主な就職、業界等）※完成年度が令和８年度			
（就職指導内容）専門学校で培った高い英語力と、自身の興味や能力を発揮できる職業選択の指導。			

（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、JLPT N2 レベル相当以上等。
（備考）（任意記載事項）令和８年度開設の１年制学科

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
-人	-人	-%
（中途退学の主な理由）-		
（中退防止・中退者支援のための取組）クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート等。		

②学校単位の情報

ａ）「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
インターナショナルコミュニケーション科	100,000 円	1,040,000 円	280,000 円	その他は施設維持費
グローバルゲートウェイ科グローバルビジネスコース	100,000 円	1,040,000 円	280,000 円	同上
ビジネス コミュニケーション科	100,000 円	1,040,000 円	280,000 円	同上
グローバルゲートウェイ科海外大学留学コース	100,000 円	1,140,000 円	280,000 円	同上
英語基礎養成科	100,000 円	1,040,000 円	280,000 円	同上
海外大学留学科	100,000 円	1,140,000 円	280,000 円	同上
大学院進学科	100,000 円	1,040,000 円	280,000 円	同上
キャリア日本語科	100,000 円	1,040,000 円	280,000 円	同上
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.kandagaigo.ac.jp/kifl/about/outline.html		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
本学規程「学校関係者評価実施要領」に従って実施： 関係者委員会は、評議員、地域住民、教育交流に係る連携機関の関係者、卒業生、学生の出身高等学校関係者、保護者、在学生から、学院長が委嘱する委員により構成する。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
地域住民	2026.4.1～2028.3.31	地域
卒業生、教育交流に係る連携機関の関係者	2026.4.1～2028.3.31	企業
教育交流に係る連携機関の関係者	2026.4.1～2028.3.31	企業
卒業生保護者	2026.4.1～2028.3.31	保護者
第三者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.kandagaigo.ac.jp/kifl/about/outline.html		
（備考）		

第三者評価は未実施

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
学校情報は以下ウェブサイトにて公開：
https://www.kandagaigo.ac.jp/kifl/
学校情報に係る刊行物『入学案内書』―以下サイトから請求して入手可能：
https://www.kandagaigo.ac.jp/kifl/　内の「資料請求」より入手

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H113310100036
学校名（○○大学 等）	専門学校神田外語学院
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人佐野学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		280 人（120 人）	259 人（113人）	人（ 人）
内訳	第Ⅰ区分	96 人	92 人	
	（うち多子世帯）	（23 人）	（16 人）	
	第Ⅱ区分	46 人	37 人	
	（うち多子世帯）	（- 人）	（- 人）	
	第Ⅲ区分	41 人	33 人	
	（うち多子世帯）	（- 人）	（- 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0 人	0 人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	26 人	26 人	
	区分外（多子世帯）	71 人	71 人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0 人（ 人）
合計（年間）				人（ 人）
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0 人	12 人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	人	－ 人	12 人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	－ 人	22 人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0 人	－ 人
計	人	人	46 人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0 人	後半期	－ 人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考） 処分としての退学、停学はなし。	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	0 人	－ 人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	人	－ 人	0 人
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	40 人	46 人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	－ 人	39 人
計	人	40 人	85 人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

インターナショナルコミュニケーション科（英語専攻コース）　昼間部2年制

科目区分	授業科目名	授業時間数	単位数	うち実務教員による授業	授業時間数	単位数	備考
講義	英文法	60	4				
講義	英語リーディング＆ライティング	60	4				
演習	英語表現演習	60	4				
演習	英語音声学	60	4				
演習	ジャパン・スタディーズ	60	4				
演習	ディベート演習	60	4				
演習	通訳トレーニング	60	4				
講義	ビジネス英語演習	60	4				
講義	Global Englishes	60	4				
演習	TOEIC SPEAKING & WRITING	60	4	○	60	4	
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	180	12				
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	120	8				
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	120	8				
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	120	8				
演習	Hybrid English Learning Program (HELP)	60	4				
講義	TOEIC Listening	60	4	○	60	4	
講義	TOEIC Reading	60	4	○	60	4	
講義	TOEIC L&R	60	4	○	60	4	
演習	企業研究	60	4	○	60	4	
演習	MOS対策（Word/PPT, Excel）	60	4	○	60	4	
講義	短期留学プログラム ／ 選択科目	210	14				
総授業時数		1710	114		360	24	
卒業に必要な授業時数		1710					

インターナショナルコミュニケーション科（国内大学編入コース）　昼間部2年制

科目区分	授業科目名	授業時間数	単位数	うち実務教員による授業	授業時間数	単位数	備考
講義	英文法	60	4				
講義	英語リーディング＆ライティング	60	4				
演習	英語音声学	60	4				
演習	ジャパン・スタディーズ	60	4				
演習	英語ディベート	60	4				
演習	TOEIC SPEAKING & WRITING	60	4	○	60	4	
講義	大学編入対策A	90	6				
講義	大学編入対策B	90	6				
講義	アカデミックスキル	30	2				
講義	外国語学（神田外語大学対策）	240	16				
講義	英米文学						
講義	言語学・英語学						
講義	国際関係学						
講義	経済学・経営学						
講義	社会学・メディア学						
講義	法学・政治学						
講義	教育学						
講義	コミュニケーション学						
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	150	10				
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	150	10				
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	120	8				
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	120	8				
演習	Hybrid English Learning Program (HELP)	60	4				
講義	TOEIC Listening	60	4	○	60	4	
講義	TOEIC Reading	60	4	○	60	4	
講義	TOEIC L&R	60	4	○	60	4	
講義	企業研究	60	4	○	60	4	
演習	MOS対策（Word/PPT, Excel）	60	4	○	60	4	
演習	任意選択科目	240	16				
総授業時数		1710	130		360	24	
卒業に必要な授業時数		1710					

インターナショナルコミュニケーション科（韓国語コース）　昼間部2年制

科目区分	授業科目名	授業時間数	単位数	うち実務教員による授業	授業時間数	単位数	備考
講義	韓国語文法	60	4				
講義	韓国語会話	60	4				
講義	韓国語発音クリニック	60	4				
講義	韓国語読解トレーニング	90	6				
講義	韓国語検定講座	90	6				
演習	韓国語プレゼンテーション	60	4				
演習	韓国語ディスカッション	60	4				
講義	韓国語アカデミックライティング	60	4				
講義	韓国語リーディング＆ボキャブラリー	60	4				
講義	東アジア研究	60	4				
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	150	10				
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	150	10				
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	120	8				
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	120	8				
講義	TOEIC Listening	60	4	○	60	4	
講義	TOEIC Reading	60	4	○	60	4	
講義	TOEIC L&R	60	4	○	60	4	
演習	企業研究	60	4	○	60	4	
演習	MOS対策（Word/PPT, Excel）	60	4	○	60	4	
講義	短期留学プログラム ／ 選択科目	210	14				
総授業時数		1710	114		300	20	
卒業に必要な授業時数		1710					

インターナショナルコミュニケーション科（中国語コース）　昼間部2年制

科目区分	授業科目名	授業時間数	単位数	うち実務教員による授業	授業時間数	単位数	備考
講義	中国語文法	60	4				
講義	中国語会話	60	4				
講義	中国語発音クリニック	60	4				
講義	中国語読解トレーニング	90	6				
講義	中国語検定講座	90	6				
演習	中国語プレゼンテーション	60	4				
演習	中国語ディスカッション	60	4				
講義	中国語アカデミックライティング	60	4				
講義	中国語リーディング＆ボキャブラリー	60	4				
講義	東アジア研究	60	4				
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	150	10				
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	150	10				
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	120	8				
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	120	8				
講義	TOEIC Listening	60	4	○	60	4	
講義	TOEIC Reading	60	4	○	60	4	
講義	TOEIC L&R	60	4	○	60	4	
演習	企業研究	60	4	○	60	4	
演習	MOS対策(Word/PPT, Excel)	60	4	○	60	4	
講義	短期留学プログラム ／ 選択科目	210	14				
総授業時数		1710	114		300	20	
卒業に必要な授業時数		1710					

インターナショナルコミュニケーション科（スペイン語コース） 昼間部2年制

科目区分	授業科目名	授業時間数	単位数	うち実務教員による授業	授業時間数	単位数	備考
講義	スペイン語文法	60	4	○	60	4	
演習	スペイン語会話	60	4	○	60	4	
演習	スペイン語発音クリニック	60	4	○	60	4	
講義	スペイン語読解トレーニング	90	6				
講義	スペイン語検定講座	90	6				
演習	スペイン語プレゼンテーション	60	4	○	60	4	
演習	スペイン語ディスカッション	60	4	○	60	4	
講義	スペイン語アカデミックライティング	60	4				
講義	スペイン語リーディング＆ボキャブラリー	60	4				
講義	ヨーロッパ研究	60	4				
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	150	10				
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	150	10				
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	120	8				
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	120	8				
講義	TOEIC Listening	60	4	○	60	4	
講義	TOEIC Reading	60	4	○	60	4	
講義	TOEIC L&R	60	4	○	60	4	
演習	企業研究	60	4	○	60	4	
演習	MOS対策（Word/PPT, Excel）	60	4	○	60	4	
講義	短期留学プログラム ／ 選択科目	210	14				
総授業時数		1710	114		600	40	
卒業に必要な授業時数		1710					

インターナショナルコミュニケーション科(フランス語コース)　昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	単位数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	単位数	備考
講義	フランス語文法	60	4				
演習	フランス語会話	60	4	○	60	4	
演習	フランス語発音クリニック	60	4	○	60	4	
講義	フランス語読解トレーニング	90	6				
講義	フランス語検定講座	90	6				
演習	フランス語プレゼンテーション	60	4				
演習	フランス語ディスカッション	60	4				
講義	フランス語アカデミックライティング	60	4				
講義	フランス語リーディング＆ボキャブラリー	60	4				
講義	ヨーロッパ研究	60	4				
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	150	10				
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	150	10				
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	120	8				
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	120	8				
講義	TOEIC Listening	60	4	○	60	4	
講義	TOEIC Reading	60	4	○	60	4	
講義	TOEIC L&R	60	4	○	60	4	
演習	企業研究	60	4	○	60	4	
演習	MOS対策(Word/PPT, Excel)	60	4	○	60	4	
講義	短期留学プログラム ／ 選択科目	210	14				
総授業時数		1710	114		420	28	
卒業に必要な授業時数		1710					

グローバルゲートウェイ科（海外大学留学コース）　昼間部2年制

科目区分	授業科目名	授業時間数	単位数	うち実務教員による授業	授業時間数	単位数	備考
講義	ノートテイキング	120	8				
講義	リーディング＆ボキャブラリー	150	10				
講義	TOEFL準備講座	285	19				
講義	キャリアガイダンス/ビジネスプロトコル	15	1				
講義	留学オリエンテーション	240	16				
演習	パブリックコミュニケーション基礎	75	5				
講義	リーディング＆ライティング中級	75	5				
講義	リングィスティク基礎	75	5				
講義	カレッジ・ライティング	90	6				
講義	文学基礎	90	6				
講義	コンピューター・コンセプト	60	4				
講義	音楽の基礎と歴史	75	5				
講義	現代アート	75	5				
講義	西洋文明	75	5				
講義	数学基礎	75	5				
講義	統計学基礎	75	5				
講義	ミクロ経済学基礎	75	5				
講義	マクロ経済学基礎	75	5				
講義	文化地理学基礎	75	5				
講義	自然災害と地球科学	90	6				
講義	論理的推論法	75	5				
講義	アメリカ史（1877以前）	75	5				
講義	アメリカ史（1877以降）	75	5				
講義	社会学基礎	75	5				
講義	米国の人種と民族	75	5				
講義	生涯設計・人生開発論	75	5				
	（任意選択科目）アメリカ政府と政治機構	75	5				
	（任意選択科目）ライフサイエンス	75	5				
総授業時数		2565	171		0	0	
卒業に必要な授業時数		2415					

グローバルゲートウェイ科（グローバルビジネスコース）　昼間部2年制

科目区分	授業科目名	授業時間数	単位数	うち実務教員による授業	授業時間数	単位数	備考
講義	English Usage	120	8				
演習	Business Communication (Written)	120	8				
演習	Business Communication (Verbal)	120	8				
講義	Entrepreneurship	120	8	○	120	8	
講義	Japanese Communication	60	4				
講義	Marketing	120	8				
講義	Management	120	8	○	120	8	
講義	Start-Ups	60	4	○	60	4	
講義	Economics	60	4	○	60	4	
演習	Accounting	60	4	○	60	4	
演習	Engineering	60	4				
演習	Business Meeting	60	4	○	60	4	
演習	Programming	240	16				
演習	Graduation Project	60	4				
講義	Learning Strategies	120	8				
講義	選択科目	210	14				
総授業時数		1710	114		480	32	
卒業に必要な授業時数		1710					

ビジネスコミュニケーション科（ビジネスデザインコース）　昼間部2年制

科目区分	授業科目名	授業時間数	単位数	うち実務教員による授業	授業時間数	単位数	備考
演習	EIB	480	32	○	480	32	
講義	English Usage（TOEIC・英検対策）	120	8				
演習	バーチャル英語	120	8				
演習	キャリアデザイン	30	2	○	30	2	
演習	企業研究	60	4	○	60	4	
演習	ビジネスリーダーシップ（PBL型授業）	30	2	○	30	2	
実習	ビジネスインターンシップ	15	1	○	15	1	
演習	ビジネス研究演習ゼミ	60	4	○	60	4	
演習	ビジネスコミュニケーション	60	4	○	60	4	
講義	日本語表現	60	4	○	60	4	
講義	IT関連資格対策	120	8	○	120	8	
演習	IT基礎 MOS対策（Word/PPT）	30	2	○	30	2	
演習	IT基礎 MOS対策（Excel）	30	2	○	30	2	
講義	ビジネス業界研究	30	2	○	30	2	
講義	財務会計	60	4	○	60	4	
講義	財務分析	30	2	○	30	2	
演習	ビジネスリサーチ	30	2	○	30	2	
演習	まなざしのデザイン	30	2	○	30	2	
演習	マーケティング演習	30	2	○	30	2	
講義	選択科目	285	19				
総授業時数		1710	114		1185	79	
卒業に必要な授業時数		1710					

ビジネスコミュニケーション科（ビジネス総合コース）　昼間部2年制

科目区分	授業科目名	授業時間数	単位数	うち実務教員による授業	授業時間数	単位数	備考
演習	EIB	480	32	○	480	32	
講義	English Usage（TOEIC・英検対策）	120	8				
演習	バーチャル英語	120	8				
演習	キャリアデザイン	30	2				
演習	企業研究	60	4	○	60	4	
演習	ビジネスコミュニケーション	60	4	○	60	4	
演習	IT基礎 MOS対策（Word/PPT）	30	2	○	30	2	
演習	IT基礎 MOS対策（Excel）	30	2	○	30	2	
講義	ビジネス表現技法	120	8				
講義	ケースで学ぶビジネスマネジメント	60	4				
演習	オフィス実務演習	120	8				
演習	ビジネスコミュニケーション演習	60	4	○	60	4	
演習	ビジネスプレゼンテーション	60	4	○	60	4	
講義	企業研究と経営	60	4	○	60	4	
演習	異文化コミュニケーション	60	4	○	60	4	
演習	ジャパンスタディーズ	60	4	○	60	4	
講義	学習戦略	120	8				
演習	ビジネスインターンシップ	60	4	○	60	4	
演習	選択科目						
総授業時数		1710	114		1020	68	
卒業に必要な授業時数		1710					

ビジネスコミュニケーション科（デジタル情報コース）　昼間部2年制

科目区分	授業科目名	授業時間数	単位数	うち実務教員による授業	授業時間数	単位数	備考
演習	EIB	480	32	○	480	32	
講義	English Usage（TOEIC・英検対策）	120	8				
演習	バーチャル英語	120	8				
演習	キャリアデザイン	30	2	○	30	2	
演習	企業研究	60	4	○	60	4	
演習	ビジネスリーダーシップ（PBL型授業）	30	2	○	30	2	
実習	ビジネスインターンシップ	15	1	○	15	1	
演習	ビジネス研究演習ゼミ	60	4	○	60	4	
演習	ビジネスコミュニケーション	60	4	○	60	4	
講義	日本語表現	60	4	○	60	4	
講義	IT関連資格対策	120	8	○	120	8	
演習	IT基礎 MOS対策（Word/PPT）	30	2	○	30	2	
演習	IT基礎 MOS対策（Excel）	30	2	○	30	2	
講義	ITビジネス業界研究	30	2	○	30	2	
演習	メディアリテラシー	30	2	○	30	2	
講義	デザイン概論	30	2	○	30	2	
講義	先行事例SNS研究	30	2	○	30	2	
演習	デジタル表現技法Ⅰ	30	2	○	30	2	
演習	デジタル表現技法Ⅱ	30	2	○	30	2	
演習	デジタル表現応用Ⅰ	30	2	○	30	2	
演習	デジタル表現応用Ⅱ	30	2	○	30	2	
講義	選択科目	255	17				
総授業時数		1710	114		1215	81	
卒業に必要な授業時数		1710					

ビジネスコミュニケーション科（エアラインコース）　昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	単位数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	単位数	備考
演習	EIB	480	32	○	480	32	
講義	English Usage（TOEIC・英検対策）	120	8				
演習	バーチャル英語	120	8				
演習	キャリアデザイン	30	2	○	30	2	
演習	企業研究	60	4	○	60	4	
演習	ビジネスリーダーシップ（PBL型授業）	30	2	○	30	2	
実習	ビジネスインターンシップ	15	1	○	15	1	
演習	ビジネス研究演習ゼミ	60	4	○	60	4	
演習	ビジネスコミュニケーション	60	4	○	60	4	
講義	日本語表現	60	4	○	60	4	
講義	IT関連資格対策	120	8	○	120	8	
演習	IT基礎 MOS対策（Word/PPT）	30	2	○	30	2	
演習	IT基礎 MOS対策（Excel）	30	2	○	30	2	
講義	エアライン業界研究	60	4	○	60	4	
演習	イメージコンサルティング	60	4	○	60	4	
講義	時事研究	60	4				
講義	社会人基礎力Ⅰ	60	4	○	60	4	
講義	社会人基礎力Ⅱ	30	2				
講義	選択科目	225	15				
総授業時数		1710	114		1155	77	
卒業に必要な授業時数		1710					

ビジネスコミュニケーション科（トラベルコース）　昼間部2年制

科目区分	授業科目名	授業時間数	単位数	うち実務教員による授業	授業時間数	単位数	備考
演習	EIB	480	32	○	480	32	
講義	English Usage（TOEIC・英検対策）	120	8				
演習	バーチャル英語	120	8				
演習	キャリアデザイン	30	2	○	30	2	
演習	企業研究	60	4	○	60	4	
演習	ビジネスリーダーシップ（PBL型授業）	30	2	○	30	2	
実習	ビジネスインターンシップ	15	1	○	15	1	
演習	ビジネス研究演習ゼミ	60	4	○	60	4	
演習	ビジネスコミュニケーション	60	4	○	60	4	
講義	日本語表現	60	4	○	60	4	
講義	IT関連資格対策	120	8	○	120	8	
演習	IT基礎 MOS対策（Word/PPT）	30	2	○	30	2	
演習	IT基礎 MOS対策（Excel）	30	2	○	30	2	
実習	旅行業界研究	30	2	○	30	2	
講義	世界遺産検定（3級対策）	30	2	○	30	2	
講義	世界遺産検定（2級対策）	30	2	○	30	2	
講義	地域観光資源	60	4	○	60	4	
演習	通訳ガイド演習（初級）	30	2	○	30	2	
演習	通訳ガイド演習（中級）	30	2	○	30	2	
講義	選択科目	285	19				
総授業時数		1710	114		1185	79	
卒業に必要な授業時数		1710					

ビジネスコミュニケーション科（ホテルコース）　昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	単位数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	単位数	備考
演習	EIB	480	32	○	480	32	
講義	English Usage（TOEIC・英検対策）	120	8				
演習	バーチャル英語	120	8				
演習	キャリアデザイン	30	2	○	30	2	
演習	企業研究	60	4	○	60	4	
演習	ビジネスリーダーシップ（PBL型授業）	30	2	○	30	2	
実習	ビジネスインターンシップ	15	1	○	15	1	
演習	ビジネス研究演習ゼミ	60	4	○	60	4	
演習	ビジネスコミュニケーション	60	4	○	60	4	
講義	日本語表現	60	4	○	60	4	
講義	IT関連資格対策	120	8	○	120	8	
演習	IT基礎 MOS対策（Word/PPT）	30	2	○	30	2	
演習	IT基礎 MOS対策（Excel）	30	2	○	30	2	
講義	ホテル業界研究	30	2	○	30	2	
演習	ホテリエデザイン	30	2	○	30	2	
講義	ホテルビジネスⅠ	30	2	○	30	2	
講義	ホテルビジネスⅡ	30	2	○	30	2	
講義	異文化理解	30	2	○	30	2	
演習	ユニバーサルホスピタリティ	30	2	○	30	2	
講義	選択科目	315	21				
総授業時数		1710	114		1155	77	
卒業に必要な授業時数		1710					

英語基礎養成科　昼間部1年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	単位数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	単位数	備考
講義	英文法	300	20				
講義	英語リーディング＆ライティング	60	4				
講義	英語表現演習	60	4				
講義	英語音声学	60	4				
演習	ジャパン・スタディーズ	60	4				
講義	学習カウンセリング	60	4				
演習	EIC	60	4				
演習	HELP	60	4				
講義	TOEIC Listening	60	4	○	60	4	
講義	TOEIC Reading	60	4	○	60	4	
演習	MOS対策（Word/PPT, Excel）	60	4	○	60	4	
総授業時数		900	60		180	12	
卒業に必要な授業時数		900					

海外大学留学科　昼間部1年制

科目区分	授業科目名	授業時間数	単位数	うち実務教員による授業	授業時間数	単位数	備考
	ノートテイキング	120	8				
	リーディング＆ボキャブラリー	120	8				
	TOEFL準備講座	195	13				
	キャリアガイダンス/ビジネスプロトコル	15	1				
	留学オリエンテーション	90	6				
	パブリックコミュニケーション基礎	75	5				
	カレッジ・ライティング	90	6				
	コンピューター・コンセプト	60	4				
	音楽の基礎と歴史	75	5				
	西洋文明	75	5				
	数学基礎	75	5				
	統計学基礎	75	5				
	ミクロ経済学基礎	75	5				
	文化地理学基礎	75	5				
	自然災害と地球科学	90	6				
	アメリカ史（1877以前）	75	5				
	（任意選択科目）アメリカ政府と政治機構	75	5				
	（任意選択科目）ライフサイエンス	75	5				
総授業時数		1530	102		0	0	
卒業に必要な授業時数		1380					

大学院進学科　昼間部1年制

科目区分	授業科目名	授業時間数	単位数	うち実務教員による授業	授業時間数	単位数	備考
	社会学	60	4				
	経済学・経営学・商学のうち1つ	60	4				
	英語コミュニケーション・日本語実技養成・英語音声学・TOEIC LR	180	12				
	教育学・日本語教育学のうち1つ	60	4				
	学習戦略・進学カウンセリング	60	4				
	研究計画書	60	4				
	筆記試験対策	60	4				
	面接対策	60	4				
総授業時数		600	40		0	0	
卒業に必要な授業時数		600					